

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2015年 第11週 （3月9日～3月15日）

## ★お知らせ

### ○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関からの報告数は減少傾向でしたが、今週は 10.88 と先週の 9.9 から微増し再度注意報値（10.00）を超えています。迅速検査ではインフルエンザ A 型 39%、B 型 61%となっており、B 型の割合が引き続き増加しています。今後も手洗い、うがい及び咳エチケットの感染予防をしてください。

#### 咳エチケット

- ★ 咳やくしゃみなどの呼吸器症状がある方は、必ずマスクを着用しましょう。
- ★ 咳やくしゃみをするときは、ハンカチやティッシュで口や鼻を押さえ、ウイルスの飛散を防ぎましょう。
- ★ 咳をしている人にはマスクの着用を促しましょう。

### ○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

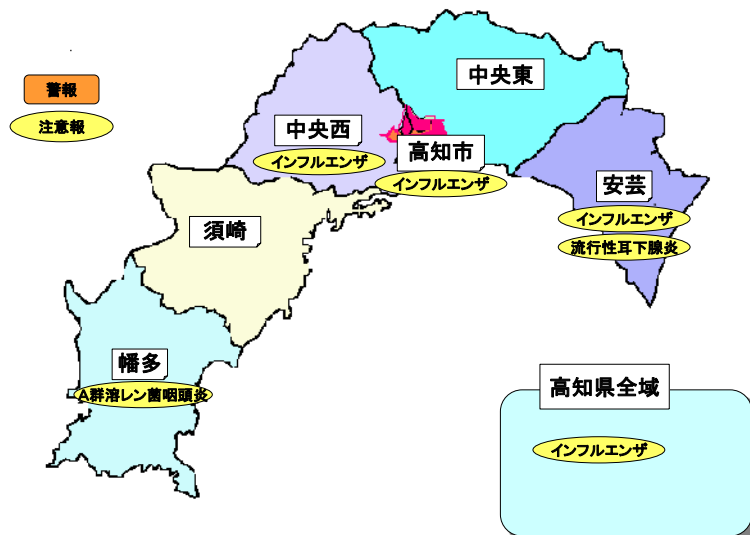
定点医療機関からの報告数は先週の 2.13 から 2.63 と増加し、過去 2 年間の同時期と比較して高い値が続いています。この病気は、高熱・咽頭痛・おう吐を主症状とする細菌性の感染症で、熱は 3～5 日以内に下がり、1 週間以内に症状は改善します。まれに重症化し、喉や舌・全身に発赤が広がる猩紅熱といわれる全身症状を呈します。また、リウマチ熱や急性糸球体腎炎などの合併症を起こすこともあります。通常、患者との接触を介して伝播するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加するとき起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も多くあります。うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

## ★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	<span style="color: orange;">→</span>	10.88	中央西、安芸、須崎、幡多で増加し、県全域及び中央西、高知市、安芸では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	<span style="color: orange;">→</span>	5.93	中央東、須崎、安芸で増加しています。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<span style="color: magenta;">↗</span>	2.63	幡多、須崎、高知市、安芸で増加しています。幡多では注意報値を超えています。
流行性耳下腺炎	<span style="color: blue;">↘</span>	0.80	須崎、中央西、幡多、中央東で増加しています。安芸では注意報値を超えています。
手足口病	<span style="color: magenta;">↗</span>	0.57	高知市で増加しています。

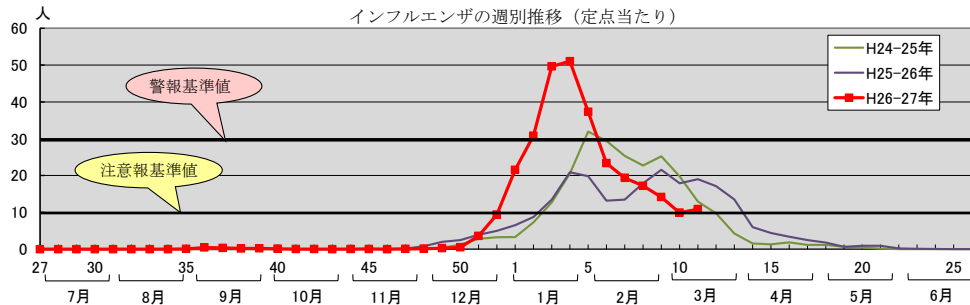
## ★地域別感染症発生状況



★気をつけて！

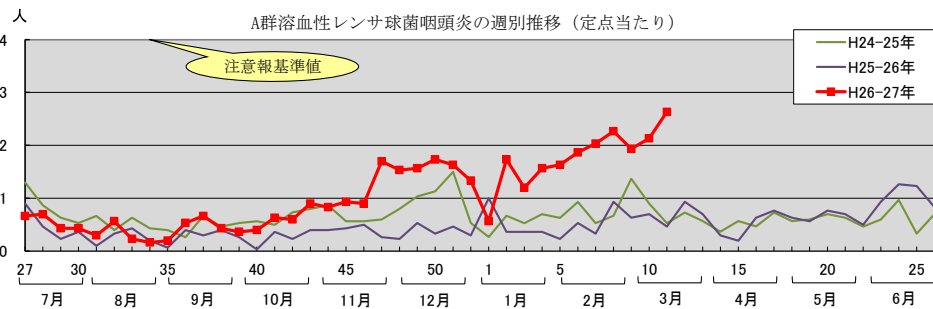
○インフルエンザ：10.88（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 10.88（前週：9.90）と微増し再度注意報値を超えています。地域別にみると、中央西（27.20：前週 19.40）安芸（10.00：前週 7.25）須崎（7.25：前週 4.25）幡多（3.38：前週 3.00）で増加し、中央西、高知市（12.25：前週 12.81）安芸では注意報値を超えています。病原体定点からは Influenza virus AH3 NT が 1 例、Influenza virus B NT が 2 例検出されています。



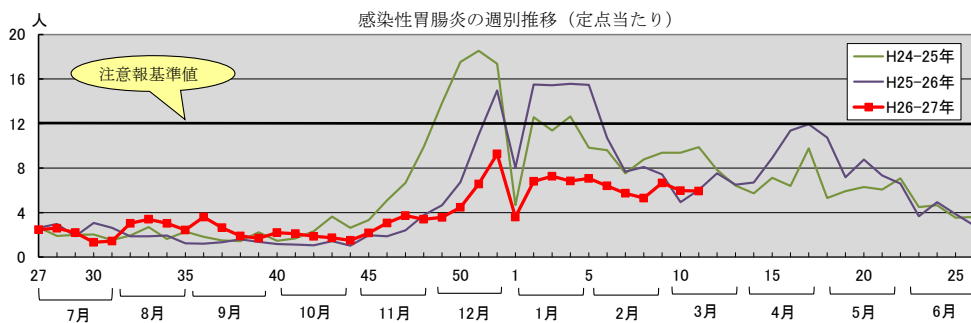
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：2.63（注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.63（前週 2.13）と増加し、過去 2 年間の同時期と比較して高い値が続いています。地域別にみると、幡多（6.20：前週 5.40）須崎（3.50：前週 1.50）高知市（2.73：前週 2.09）安芸（2.00：前週 0.50）で増加し、幡多では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎：5.93（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 5.93（前週 5.97）とほぼ横ばいです。地域別にみると中央東（9.29：前週 8.71）須崎（8.00：前週 5.00）安芸（5.00：前週 4.00）で増加しています。



★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
11	不明発疹症	1	男	須崎	Adenovirus 6
11	急性咽頭扁桃炎	3	男	高知市	Echovirus 18
11	インフルエンザ	5	女	須崎	Influenza virus A H3 NT
11	感染性胃腸炎	7	女	中央東	Influenza virus B NT
11	インフルエンザ	43	女	須崎	Influenza virus B NT
11	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Norovirus GII NT
11	感染性胃腸炎	3	男	須崎	Norovirus GII NT
11	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Norovirus GII NT
11	けいれん重積、急性気管支炎	7	男	高知市	Rhinovirus
11	不明発疹症	10か月	女	中央東	Rhinovirus
11	不明熱	1	女	須崎	Rhinovirus

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
4	インフルエンザ	8	女	中央西	Influenza virus A H3 N2※
4	インフルエンザ	5	男	須崎	Influenza virus A H3 N2※
5	インフルエンザ	42	女	須崎	Influenza virus A H3 N2※
7	インフルエンザ	3	男	高知市	Influenza virus A H3 N2※
9	急性気管支炎、喘息	5	男	高知市	Adenovirus 1
9	手足口病	11か月	男	高知市	Coxsackievirus A16
10	不明熱	15	男	須崎	Epstein-Barr virus
10	インフルエンザ	5	男	須崎	Influenza virus B/Yamagata※
10	感染性胃腸炎	2	男	須崎	Rotavirus group A G1

※は受付週に PCR 検査で検出した後ウイルスを分離培養したものです。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2 類	結 核	3	34	60 歳代 (女)	安 芸
				70 歳代 (女)	高知市
				60 歳代 (男)	幡 多

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	ヒトメタニューモウイルス気管支炎 1 例 (1 歳女) ノロウイルス 1 例 (1 歳女)
中央東	あけぼの小児クリニック	ロタウイルス感染症 2 例 (1、2 歳) RS ウイルス感染症 1 例 (1 歳) hMPV 感染症 2 例 (7、8 歳)
	早明浦病院小児科	感染性胃腸炎は相変わらず増多 インフルエンザ A 型 7 例、B 型 6 例 (5 ヶ月～16 歳)
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A 型 1 例 (14 歳男：ワクチン未接種) インフルエンザ B 型 1 例 (13 歳男：ワクチン未接種)
高知市	高知医療センター	ヒトメタニューモウイルス 1 例 (1 歳男) 病原性大腸菌 2 例 (2 ヶ月、14 歳男)
	けら小児科・アレルギー科	病原性大腸菌 O-25 腸炎 1 例 (8 歳女) ロタウイルス腸炎 2 例 (1 歳男女) アデノウイルス扁桃炎 1 例 (1 歳女) マイコプラズマ肺炎 2 例 (32 歳男、28 歳女)
	細木病院小児科	ロタウイルス 2 例 (1、4 歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 6 例、B 型 9 例 (内予防接種済み 2 例)
中央西	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ A 型 5 例、B 型 17 例 (内 11 ヶ月男：県外から帰省、8 歳男：須崎市)
	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 2 例 (1 歳男女)
	石黒小児科	帯状疱疹 1 例 (2 歳女)
須 崎	もりはた小児科	ロタウイルス胃腸炎 8 例 hMPV 肺炎 1 例 (3 歳女) インフルエンザは全例 B 型 10wカンピロバクター腸炎 1 例 (15 歳男)
幡 多	幡多けんみん病院	hMPV 2 例 (3、5 歳男)
	さたけ小児科	アデノウイルス感染症 1 例 (1 歳男)

★全国情報

第9週 (2/23～3/1)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核396例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症23例

4類感染症：E型肝炎3例、A型肝炎7例、オウム病1例、チクングニア熱1例、デング熱3例、  
日本紅斑熱1例、レジオネラ症9例

5類感染症：アメーバ赤痢15例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症15例

急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症8例

後天性免疫不全症候群12例、侵襲性インフルエンザ菌感染症4例、

侵襲性肺炎球菌感染症33例水痘（入院例に限る）1例、梅毒16例、破傷風1例、風しん4例、  
薬剤耐性アシネトバクター感染症1例  
報告遅れ：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症14例、急性脳炎6例、水痘（入院例に限る）3例、  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

## ★海外で注目すべき感染症—麻しん

麻しんは高熱、全身の発しん、カタル症状を特徴とする感染力の非常に強いウイルス感染症である。肺炎、脳炎等を合併して死亡することもある重篤な感染症だが、事前に予防接種を受けることで予防が可能である。本年、欧州、北米等で麻しんの報告が増加しているため、注目を集めている。本稿においては、直近の欧州、アメリカ大陸および西太平洋地域における麻しんの流行の概要を提供することを目的とした。なお、麻しんを始めとする、海外の直近の感染症発生情報に関しては、厚生労働省検疫所（FORTH）サイトの「新着情報」を参照して頂きたい。

欧州では、麻しんの流行が複数の国で報告されている。流行している麻しんウイルスの遺伝子型は殆どがD8であり、報告された患者の大半は麻しんの予防接種を未接種であった。2014年1月1日から2015年3月1日までに、世界保健機関（WHO）はヨーロッパ各地から23,000例を上回る麻しん症例の報告を受けた（2015年3月6日現在）。最も報告数が多いキルギスタンでは、2014年から2015年最初の7週までに7,477例が報告されている。その他、ボスニア・ヘルツェゴビナ（5,340例）、グルジア（3,291例）、ロシア（3,247例）、イタリア（1,674例）、ドイツ（1,091例）、カザフスタン（537例）から多くの麻しんが報告されている（2015年2月25日現在）。この状況は、2015年末までに地域から麻しんを排除するという目標を脅かすものであり、WHOの欧州地域事務局は、感染リスクのある年齢層での麻しんの予防接種を強化することを政策担当者、医療従事者および（その子どもの）親に対して求めている。

アメリカ大陸でも、ブラジル、カナダ、メキシコおよび米国で麻しんの報告増加がみられる。このうち、米国疾病管理予防センターによると、米国では2015年1月1日から2015年3月6日までに、17の州で173例の麻しん症例が報告されており、115例はカリフォルニア州からの報告であった（2015年3月9日現在）。また、2014年12月28日から2015年3月6日までに7州から報告された142例は（2015年3月9日現在）、カリフォルニア州のアミューズメントパークでの活動との関連があると示唆される。この流行は、おそらくは海外で感染し、ウイルスを排出している状態の患者がアミューズメントパークを訪れたことから始まったとされている。遺伝子型は、2013年後半からフィリピンなどで流行しているB3であるが、事例に特化した感染源は特定されていない。報告された症例の年齢は幅広く、1歳未満から59歳（中央値19歳）におよんでいる（2015年2月13日現在）。また、メキシコは、カリフォルニア州に旅行歴のある麻しんの輸入感染例2例（22カ月の女兒と37歳の麻しんワクチン未接種の女性）を報告した（2015年2月13日現在）。カナダでは、2015年始めから2月21日までに45例がケベック州、オンタリオ州、マニトバ州から報告された（2015年3月4日現在）。遺伝子型についてはケベック州ではB3、オンタリオ州ではD4、そしてマニトバ州ではD8と、個別の発生が起こっていると考えられている。ケベック州では、疑い症例は宗教的理由でワクチンを接種していない同一家族から始まり、米国での流行と繋がっていた。ブラジルでは、2013年から2015年にかけてペルナンブーコ州とセアラ州で遺伝子型D8の麻しんの報告が続いており、2015年の1～7週までに44例が報告されている（2015年2月21日現在）。セアラ州では、2013年12月以降718例が確認されており、患者の殆どは5歳未満（37%）と15～29歳の若年齢（33%）であった（2015年2月13日現在）。

日本を含む西太平洋地域の国々においても、麻しんが流行しているところが多い。2015年1月には、中国（2,359例）、フィリピン（33例）、パプアニューギニア（18例）、オーストラリア（10例）、ベトナム（8例）などの麻しん患者がWHOに報告された（2015年2月20日現在）。

海外において、麻しんの流行が継続している中、国内に麻しんが流入しても広がらないように、国内での麻しんを含む定期予防接種の徹底がまず重要である。我が国では、1歳と小学校入学前1年間の小児に対して、2回の定期予防接種が行われている。また、麻しんの予防接種歴がない、1回のみ、あるいは不明の方には、海外渡航前に麻しんを含む予防接種を受けることがすすめられる。なお、麻しんの接種に用いるワクチンは、風しん対策の観点も考慮して、麻しん風しん混合ワクチンを用いることが原則となる。

（国立感染症研究所感染症疫学センター）

高知県感染症情報(58定点医療機関)

第11週 平成27年3月9日(月)～平成27年3月15日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(10週)	高知県(11週末累計) H26/12/29～H27/3/15	全国(10週末累計) H26/12/29～H27/3/8
インフルエンザ	インフルエンザ		40	94	196	136	29	27	522 ( 10.88)	475 ( 9.90)	21,323 ( 4.32)	13,691 ( 285.23)	1,035,316 ( 210.47)
小児科	咽頭結膜熱						1	1	2 ( 0.07)	8 ( 0.27)	996 ( 0.32)	28 ( 0.93)	9,061 ( 2.89)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	4	30	3	7	31		79 ( 2.63)	64 ( 2.13)	9,793 ( 3.11)	587 ( 19.57)	73,250 ( 23.36)
	感染性胃腸炎	10	65	57	5	16	25		178 ( 5.93)	179 ( 5.97)	25,407 ( 8.07)	2,027 ( 67.57)	227,306 ( 72.48)
	水痘		1	3	5				9 ( 0.30)	19 ( 0.63)	1,613 ( 0.51)	142 ( 4.73)	17,808 ( 5.68)
	手足口病	2		15					17 ( 0.57)	14 ( 0.47)	1,276 ( 0.41)	212 ( 7.07)	9,553 ( 3.05)
	伝染性紅斑							1	1 ( 0.03)	1 ( 0.03)	1,178 ( 0.37)	12 ( 0.40)	10,941 ( 3.49)
	突発性発疹		1	6		2			9 ( 0.30)	5 ( 0.17)	1,463 ( 0.46)	100 ( 3.33)	12,572 ( 4.01)
	百日咳			1					1 ( 0.03)	( )	34 ( 0.01)	4 ( 0.13)	262 ( 0.08)
	ヘルパンギーナ							1	1 ( 0.03)	1 ( 0.03)	60 ( 0.02)	5 ( 0.17)	571 ( 0.18)
	流行性耳下腺炎	6	1	14	1	1	1		24 ( 0.80)	29 ( 0.97)	1,038 ( 0.33)	193 ( 6.43)	8,728 ( 2.78)
RSウイルス感染症	3	1	2	1			1	8 ( 0.27)	13 ( 0.43)	1,361 ( 0.43)	309 ( 10.30)	20,363 ( 6.49)	
眼科	急性出血性結膜炎								( )	( )	7 ( 0.01)	( )	80 ( 0.12)
	流行性角結膜炎								( )	( )	273 ( 0.40)	2 ( 0.67)	2,852 ( 4.18)
基幹	細菌性髄膜炎								( )	( )	6 ( 0.01)	1 ( 0.13)	70 ( 0.15)
	無菌性髄膜炎								( )	( )	12 ( 0.03)	( )	121 ( 0.26)
	マイコプラズマ肺炎			2					2 ( 0.25)	7 ( 0.88)	107 ( 0.23)	36 ( 4.50)	1,046 ( 2.21)
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			2					2 ( 0.25)	1 ( 0.13)	14 ( 0.03)	6 ( 0.75)	57 ( 0.12)
	感染性胃腸炎		1	2					3 ( 0.38)	1 ( 0.13)	201 ( 0.42)	14 ( 1.75)	975 ( 2.06)
計 (小児科定点当たり人数)	65 ( 22.50)	168 ( 18.97)	330 ( 23.88)	151 ( 32.20)	56 ( 20.75)	88 ( 15.58)		858 ( 21.84)			66,162	17,369 ( 405.86)	1,430,932
前週 (小児科定点当たり人数)	55 ( 20.25)	179 ( 19.93)	346 ( 25.09)	118 ( 26.39)	31 ( 11.25)	88 ( 15.60)			816 ( 21.00)				

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関) 定点当たり人数

定点当たり

第11週

定点名	疾病名	保健所	安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(10週)	高知県(11週末累計) H26/12/29～H27/3/15	全国(10週末累計) H26/12/29～H27/3/8
インフルエンザ	インフルエンザ		10.00	8.55	12.25	27.20	7.25	3.38	10.88	9.90	4.32	285.23	210.47
小児科	咽頭結膜熱						0.50	0.20	0.07	0.27	0.32	0.93	2.89
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.00	0.57	2.73	1.00	3.50	6.20		2.63	2.13	3.11	19.57	23.36
	感染性胃腸炎	5.00	9.29	5.18	1.67	8.00	5.00		5.93	5.97	8.07	67.57	72.48
	水痘		0.14	0.27	1.67				0.30	0.63	0.51	4.73	5.68
	手足口病	1.00		1.36					0.57	0.47	0.41	7.07	3.05
	伝染性紅斑							0.20	0.03	0.03	0.37	0.40	3.49
	突発性発疹		0.14	0.55		1.00			0.30	0.17	0.46	3.33	4.01
	百日咳			0.09					0.03		0.01	0.13	0.08
	ヘルパンギーナ							0.20	0.03	0.03	0.02	0.17	0.18
	流行性耳下腺炎	3.00	0.14	1.27	0.33	0.50	0.20		0.80	0.97	0.33	6.43	2.78
RSウイルス感染症	1.50	0.14	0.18	0.33		0.20		0.27	0.43	0.43	10.30	6.49	
眼科	急性出血性結膜炎										0.01		0.12
	流行性角結膜炎										0.40	0.67	4.18
基幹	細菌性髄膜炎										0.01	0.13	0.15
	無菌性髄膜炎										0.03		0.26
	マイコプラズマ肺炎			0.40					0.25	0.88	0.23	4.50	2.21
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.40					0.25	0.13	0.03	0.75	0.12
	感染性胃腸炎		1.00	0.40					0.38	0.13	0.42	1.75	2.06
計 (小児科定点当たり人数)	22.50	18.97	23.88	32.20	20.75	15.58		21.84			405.86		
前週 (小児科定点当たり人数)	20.25	19.93	25.09	26.39	11.25	15.60			21.00				

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869